

No 43	萩市立椿西小学校
調査研究名	体力向上に係る継続的な実践研究
調査研究計画	1 研究テーマ 学校・家庭が連携した体力向上の実践 2 研究内容 本校では、体力向上に向けた集中的な取組として、体育委員会が中心となって、中休みや昼休みに「体力ピカット週間」を行っている。(4月握力・投力、7月水泳、10月跳び箱、11月持久走 等) この取組は、「アクティブ・チャイルド・プログラム」(日本体育協会 H22. 10. 20 発行)で、元気な子どもを育む実践事例として紹介された。また、生活習慣の改善に向けても、「早寝・早起き・朝ご飯」をキーワードに生活チェック表を中心に取り組んでいる。 これらの取組を継続しつつ、学校・家庭が連携した取組をさらに充実させることが、今後の課題である。 そこで、「アクティブ・チャイルド・プログラム」でも紹介されている、東京都小平市立小平第六小学校の「コダイラスロン」(児童の日常的な遊びや身体活動を得点にし、合計得点をフィードバックして身体活動量の増強を目的とするプログラム)の取組を視察し、保護者と連携した取組の実際について研修したい。視察研修内容を参考にし、本校の実態を踏まえ、学校と家庭が連携した取組を工夫し、実践につなげていきたい。 3 実践校視察の視点 日常的な体力向上や生活習慣改善の実践プログラムについて ・「コダイラスロン」の具体的な内容 ・実施上の留意点 ・児童及び保護者への情報提供の実際 等
授業研究・研修等の公開など研究成果の還元方法	
① 研修職員会議等での復伝 ② 体力ピカット週間(体育委員会を中心とした体力向上の取組)への反映 ③ 学校・家庭が連携した体力向上及び生活習慣改善の取組の工夫、実践	